

---

# 大学教育学会ニュースレター

No.100 2015.9.18

---

一般社団法人大学教育学会 (Japan Association for College and University Education)

事務局：〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原 2-8-20-204

TEL/FAX：(042) 707-8112

郵便振替口座：00120-4-178891 大学教育学会

e-mail: jacue.office@gmail.com URL: <http://www.daigakukyoku-gakkai.org/>

---

大学教育学会 2015 年度課題研究集会

統一テーマ 「連携」から広がる新たな時代の大学教育

2015 年度課題研究集会実行委員長

佐藤 洋一 (岩手医科大学)

この度、平成 27 年度の大学教育学会課題研究集会を、岩手大学と岩手医科大学が共催で御世話することになりました。ここに実行委員長として挨拶を申し上げたいと存じます。

日本の大学を取り巻く環境は日々刻々変化しており、大学教育もそれに柔軟に対応しなければなりません。大学全入時代では学生の学修力の低下が否めず、一方では学士力の担保が求められ、卒業時のコンピテンシーの適正な評価も求められております。これに対しては、各部署の取り組み状況を報告しあう情報共有に加え、多方面での連携が有効な手段になると思われまます。

連携には、大学間の連携、学部間の連携、あるいは学年をまたいだ連携など、様々な形態があります。また、たんなる共学・共修から始まり、情報共有あるいは能動的学修を他学部学生とおこなう等、その内容も千差万別ですが、共通するのは「普段とは異なる交流」でしょう。学問の深化には、対象を絞り込む事も必要ですが、ともすれば夜郎自大に陥る事になりかねません。大学が社会から乖離した教育をしているとの批判を受けるのは、そうした視野狭窄の傾向があるため、そのことを私たちは反省しなければならないと思います。連携によって、私たちは普段とは異なる学生・教員と触れあうこととなります。それは新しい刺激であり、自らの隠れた能力を引き出す契機となります。また、大学間のコンソーシアム事業あるいは学部間で行われる多職種連携教育では、他大学・他職種への尊敬の念を持つとともに、自大学・自学部の使命を振り返ることで自己肯定することができます。そして、連携によるシナジー効果は、学生のみならず大学全体の活性化をもたらします。従いまして、大学の質の向上には、多方面での連携が欠かせないと存じます。

平成 23 年に東北地方を襲った大震災は、多数の人命を奪いましたが、三陸地域のコミュニティーを消失させるには至りませんでした。なぜなら、古くから培った住民の絆が、地域コミュニティーを維持したからです。助け合いや互助の利他的行動が、結局は自分も含めた生き残りに最も効果的であった事を、私たちは経験しました。大学という組織も同じで、常に情報交換と連携プロジェクトを心がけて協力しあうことが大学の存続と発展に必要でしょう。震災復興における絆を目の当たりにし、今回の課題研究会のテーマを「連携」といたしました。第一日目は岩手医科大学で基調講演と企画シンポジウムを執り行います。盛岡市郊外に建てられた新キャンパスは、学部の壁を取り払い、多学部学生の連携教育がやりやすいような斬新なレイアウトになっております。二日目は場所を盛岡市内の岩手大学に移し課題研究をおこないます。今回の二大学主催は、いわて高等教育コンソーシアムで生まれた教員間の絆によって実現したものです。一つの大学では会場の制限から中途半端になってしまうことから、教育資源のスケールメリットを活かした共催にいたしました。11 月末は、盛岡はかなり寒くなっておりますが、ご来場の皆様の熱気で寒気を吹き飛ばして頂ければ幸いです。学会を通じて、また新たな絆が生まれる事を祈念致します。

# 大学教育学会 2015 年度課題研究集会

## 実施要項

統一テーマ：「連携」から広がる新たな時代の大学教育」

主催：一般社団法人大学教育学会

後援：岩手医科大学、岩手大学

期日：2015年11月28日（土）・29日（日）

会場：28日（土）岩手医科大学矢巾キャンパス（岩手県紫波郡矢巾町西徳田 2-1-1）

29日（日）岩手大学（岩手県盛岡市上田 3-18-34）

### 【スケジュール】

第1日：11月28日（土） 岩手医科大学 大堀記念講堂

| 11:00 | 12:00      | 13:00 | 13:30 | 14:30      | 15:00       | 17:30 | 18:30 | 20:00 |
|-------|------------|-------|-------|------------|-------------|-------|-------|-------|
| 受付    | ポスター・セッション | 開会挨拶  | 基調講演  | ポスター・セッション | 開催校企画シンポジウム | 移動    | 情報交換会 |       |

情報交換会場：ホテル・ルイズ

岩手県盛岡市盛岡駅前通 7-15 TEL：019-625-2611（代表）

※盛岡駅東口徒歩2分

第2日：11月29日（日） 岩手大学 学生センターC棟  
[1階GC1大教室、2階GC2大教室]

| 9:00 | 9:30    | 12:00 | 13:00              | 15:30 | 16:00 |
|------|---------|-------|--------------------|-------|-------|
| 受付   | シンポジウムⅠ | 昼食    | シンポジウムⅡ<br>シンポジウムⅢ | 閉会挨拶  |       |

関連行事

11月28日（土） 9:30～11:30 理事会 [岩手医科大学・大会議室]

11:00 受付開始 [1階ロビー]

12:00～12:50 ポスター・セッション コアタイム I [講堂ホワイエ]

**【ポスター・セッション】**

1. アクティブラーニングで学びを変える  
○青木 幸子 (昭和女子大学)
2. アクティブ・ラーニングとしての教養ゼミナール  
○安岡 高志 (立命館大学)
3. アクティブ・ラーニング型授業における学修支援学生スタッフの導入  
○河内 真美 (金沢大学)、杉森 公一 (金沢大学)、上畠 洋佑 (金沢大学)
4. 学習空間「雄飛館ラーニングコモンズ」におけるアクティブラーニング実践と課題  
京都産業大学 教育支援研究開発センター
5. アクティブ・ラーニング (AL) の可視化に関する考察 (1)  
～AL ポイント認定制度の設計と運用を通して～  
○林 透 (山口大学)、○河島 広幸 (山口大学)
6. 高大連携における先端的研究成果の授業化についての考察  
○七田 麻美子 (総合研究大学院大学)、塚原 直樹 (総合研究大学院大学・非会員)、  
山本 裕子 (立教大学)、岩本 幸彦 (神奈川県立横須賀高等学校・非会員)
7. 高大接続を踏まえた科学技術人材養成プログラムの設計  
—高校・大学間連携を想定したポートフォリオシステムの導入—  
○尾崎 宏和 (東京農工大学)、藤井 恒人 (東京農工大学)、  
佐藤 友久 (東京農工大学・非会員)、國見 裕久 (東京農工大学・非会員)
8. 高大接続を踏まえた科学技術人材養成プログラムの設計  
—高校・大学・大学院一貫の科学技術人材養成ルーブリックの設計—  
○藤井 恒人 (東京農工大学)、尾崎 宏和 (東京農工大学)、  
佐藤 友久 (東京農工大学・非会員)、國見 裕久 (東京農工大学・非会員)
9. 授業時間外課題作業と科目別学習到達度調査への Web サービス活用事例  
○佐藤 尊範 (東海学院大学)
10. 授業評価アンケートの自由記述を教育改善にどうつなげるか：計量テキスト分析の試み  
○歸山 亜紀 (立教大学)、大嶋 玲未 (立教大学・非会員)、  
山本 裕子 (立教大学)、谷村 英洋 (立教大学)
11. 保健医療学部初年次教育としての「プレゼンテーション演習」の授業成果に関する検討  
○奈良 雅之 (目白大学)
12. 学内ワークスタディを通じた学生と教職員との連携による教育効果  
○岩尾 祐介 (中村学園大学)
13. 学生インタビュー調査を始点とする IR 活動について  
○上畠 洋佑 (金沢大学)、杉森 公一 (金沢大学)、河内 真美 (金沢大学)
14. 参照基準策定の現状と課題 —物理学分野を例に—  
○安田 淳一郎 (山形大学)
15. 海外日本語教育実習における学生の変容 社会人基礎力に注目して  
○三枝 優子 (文教大学)
16. 短大生調査を用いた地域別ベンチマーク指標の開発  
○山崎 慎一 (桜美林大学)、○堺 完 (日本私立学校振興・共済事業団)、  
黄 海玉 (短期大学基準協会・非会員)

17. 新任教員向け FD ワークショップ「授業デザインとアクティブラーニング」の評価と課題  
 ー事後アンケートの分析からー  
 ○山本 裕子 (立教大学)、谷村 英洋 (立教大学)、  
 大嶋 玲未 (立教大学・非会員)、歸山 亜紀 (立教大学)
18. 大学間連携で取り組む学生リーダーシップ養成プログラムにおける  
 教職員スタッフの能力開発について  
 ○岸岡 洋介 (京都外国語大学)、鈴木 理絵 (九州国際大学)、  
 山内 一祥 (佐賀大学)、松岡 陽子 (山口大学・非会員)、  
 泉谷 道子 (松山大学・非会員)、村田 晋也 (愛媛大学)、  
 秦 敬治 (追手門学院大学)
19. 専門性のある大学職員のモデルケース分析  
 ○山内 尚子 (京都産業大学)、中沢 正江 (京都産業大学・非会員)
20. TA を活用した大学院教育の達成度評価システム  
 ○松原 悠 (筑波大学大学院)、佐藤 良太 (筑波大学大学院・非会員)、  
 巖 先鏞 (筑波大学大学院・非会員)、吉野 宏志 (筑波大学大学院・非会員)、  
 秋元 祐太郎 (筑波大学大学院・非会員)、木下 尚彦 (筑波大学大学院・非会員)、  
 遠藤 靖典 (筑波大学・非会員)
21. 大学におけるシチズンシップ教育の検討  
 ー論争的問題を導入した京都光華女子大学の実践事例からー  
 ○乾 明紀 (京都光華女子大学)、高野 拓樹 (京都光華女子大学・非会員)
22. 社会的責任養成としての科学実験  
 ○鎌滝 晋礼 (九州大学)
23. 大学ボランティアセンターの設置が震災後の学生ボランティアに与える影響  
 ○大門 大朗 (大阪大学大学院)、太刀掛 俊之 (岡山大学)
24. ビブリオバトルの活用による図書館職員との教職協働  
 ○岩手医科大学教養教育センター

13:00～13:30 総合司会：佐藤 洋一 (岩手医科大学) 実行委員長  
 開会行事  
 開催大学挨拶 岩渕 明 (岩手大学 学長)  
 学会会長挨拶 小笠原 正明 (北海道大学名誉教授)

13:30～14:30

**【基調講演】「多職種連携と徳育」**

**講演講師 小川 彰 (岩手医科大学 理事長・学長)**

講師の小川先生は、脳神経外科医として卓越した技量を発揮されてきましたが、教授として後進育成にも力を注がれてきました。また、教務委員長や医学部長の職を歴任された際には厚生行政と文部科学行政の歪みも実感されました。それ以来現在に至るまで、資料を集められ、それらの諸問題の根底には、政府による統制・干渉と不作為があることを明らかにされました。例えば、医療人に求められる「思いやりの心」を慈しむ「徳育」は戦後はなされておられませんでした。一方、国家試験は難しくなっていますから、むしろ頭でっかちの知識のお化けみたいな医師が増えております。現在、岩手医科大学は、小川先生の主導のもとで、同一キャンパス・同一講義棟で医療系学部学生が混在して勉学に励むユニークな総合医療系大学に変革しつつあります。また、建物だけではなく、小川先生は難色を示す文部科学省を押しきって、教員組織の流動性を高めるために、複数学部の教員組織も統合し

ました。実は、多職種連携教育は、他者への思いやりと自己肯定を培うことができるという点で、徳育の一つでもあります。基調講演では、連携教育による徳育を推し進めている小川先生に、歪められた医療人育成教育の歴史的背景と、うち捨てられた徳育がいかに素晴らしいものであったかをご講演いただきます。

14:40～15:00 ポスター・セッション コアタイムⅡ [講堂ホワイエ]

15:00～17:30

**【開催校企画シンポジウム】**

**テーマ：「多様な連携による大学教育の質向上の可能性」**

大学の教育改革が猛スピードで進行している。しかし、走っている我々の足元には道はない。我々の走った後にしっかりとした軌跡ができていくのかも定かではない。我々大学人に確かなゴールが見えなくても、理想と誠実さを持って現実に立ち向かっていきたい。

連携は新しい可能性を創出していくが、連携がすべてうまくいくことはないし、新たな軋轢や課題を生み出すことも必然である。それでも、次の時代を切り開くために、リスクを覚悟しつつ、果敢に越境して、連携にチャレンジしている無数の大学の試みがある。

本シンポジウムでは、大学の入口から出口まで時系列に沿った話題を4つ提供する。1. 岩手大学の後藤尚人先生による「高大連携と地域連携」、2. 北海道大学の小林幸徳先生による「北海道地区国立大学における教養教育連携」、3. 山形大学の橋爪孝夫先生による「大学間連携と地域連携」、4. 龍谷大学の佐藤龍子先生による「産学連携による就職支援」である。連携の可能性がどこまで深められ共有化されるか、楽しみである。

シンポジスト：

- |                        |               |
|------------------------|---------------|
| 1. 高大連携と地域連携           | 後藤 尚人 (岩手大学)  |
| 2. 北海道地区国立大学における教養教育連携 | 小林 幸徳 (北海道大学) |
| 3. 大学間連携と地域連携          | 橋爪 孝夫 (山形大学)  |
| 4. 産学連携による就職支援         | 佐藤 龍子 (龍谷大学)  |

司 会：小田 隆治 (山形大学)

17:30～ 移動

※ 矢巾キャンパスから盛岡駅前にあるホテル・ルイズ (情報交換会参加者)、及び、盛岡駅西口 (それ以外の方) までのバスを運行します。情報交換会に参加されない方も、ぜひ、このバスをご利用ください。

18:30～20:00 情報交換会 ホテル・ルイズ

第2日 11月29日(日) ————— 岩手大学学生センターC棟

9:00 受付開始 (学生センターC棟 1F)

9:30～12:00

**【シンポジウムⅠ】** [学生センターC棟1F GC1大教室]

**テーマ：「学士課程教育における共通教育の質保証」**

本課題研究も最後の課題研究集会での発表を迎えることとなった。学士課程教育の質保証は高等教育全体にとって喫緊の課題であり、日本学術会議においても分野別参照基準の作成が進んでいるとこ

ろであるが、専門分野の質保証の観点では抜け落ちてしまう共通教育の質保証を主要な対象とし、質保証の要となる学習成果の評価に焦点をあてた研究を行ってきた。広範な内容を包含するテーマであることから、以下の4つのサブテーマに沿って研究を進めており、今回のシンポジウムではそれぞれのサブテーマの統括者から報告を行う。

- サブテーマ1：共通教育における学習成果の直接評価
- サブテーマ2：数理学分野における共通教育の質保証
- サブテーマ3：共通教育における学習成果の間接評価
- サブテーマ4：共通教育における質保証のためのマネジメント

学会の課題研究シンポジウムでの報告は今回が最後となるが、テーマとしては本学会が継続的に追求していくべきものであり、各サブテーマではそれぞれの研究のフィールド校での実践を含め、緒についたばかりである。今回のシンポジウムは現時点での成果と課題の集約となるが、研究は今後も継続する予定である。

企画者：高橋 哲也（大阪府立大学）・松下 佳代（京都大学）・山田 礼子（同志社大学）  
鳥居 朋子（立命館大学）

司会者：深堀 聡子（国立教育政策研究所）

シンポジスト：

- 松下 佳代（京都大学） 「サブテーマ1の研究成果と今後の課題について」
- 山田 礼子（同志社大学） 「サブテーマ3の研究成果と今後の課題について」
- 高橋 哲也（大阪府立大学） 「サブテーマ2の研究成果と今後の課題について」
- 鳥居 朋子（立命館大学） 「サブテーマ4の研究成果と今後の課題について」

指定討論者：

小笠原 正明（大学教育学会会長）

12:00～13:00 昼食休憩 [昼食会場：イン・シーズン]

※事前にお申込みされた方には、昼食会場で引換券により昼食をお渡しします。

13:00～15:30

**【シンポジウムⅡ】** [学生センターC棟2F GC2大教室]

**テーマ：「発達障害学生への学生支援・大学教育の役割」**

発達障害者の自立及び社会参加の推進を目的とし、学校教育における支援についても定めた発達障害者支援法（2004年）は、「大学及び高等専門学校は、発達障害者の障害の状態に応じ、適切な教育上の配慮をするものとする」と規定した。2011年7月、改正障害者基本法は「障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策」として、障害者が「特性を踏まえた十分な教育が受けられるように」「教育の内容及び方法の改善及び充実を図る」ことを国・地方公共団体に義務付けた。そして、2016年4月、合理的配慮の不提供を差別と規定した障害者差別解消法が施行される。

障害者の自立と社会参加のため最後の「学校」として大学が果たすべき役割は極めて重い。本学会は長く、カリキュラムや授業を中心に「教育内容・方法の改善研究」に取り組んできた。今、時代の新たな課題である障害学生への教育上の配慮、とりわけ発達障害学生の修学継続、卒業・進学・就職に関する配慮の内容と方法について、何が合理的なのかを議論する。

企画者：青野 透（徳島文理大学）・大島 啓利（広島修道大学）・片岡 美華（鹿児島大学）  
橋場 論（福岡大学）・望月 由起（昭和女子大学）・小川 勤（山口大学）  
枝廣 和憲（岡山大学）・山中 淑江（立教大学）・吉武 清實（東北大学）

司会者：山中 淑江

シンポジスト：

青野 透（徳島文理大学）

「合理的配慮は事務・事業の目的・内容・機能の本質的な変更には及ばない  
－政府基本方針の文言の意味－」

石塚 陽二（独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部障害学生支援課長）

「発達障害学生支援・配慮の申し出から対応に至るまでのプロセス  
－全国 416 高等教育機関の事例収集・分析から－」

吉武 清實（東北大学） 「教育としての発達障害学生支援・配慮－大学院の事例を交えて－」

小川 勤（山口大学） 「発達障害学生に対する移行支援の基本的考え方  
－学内外支援組織との連携・協力を中心に－」

### 【シンポジウムⅢ】 [学生センターC棟1F GC1大教室]

#### テーマ：「アクティブラーニングの効果検証」

全国でアクティブラーニングの導入・推進が急ピッチで進められている。アクティブラーニングの理論・関連する概念や技法、評価法など、アクティブラーニング型授業をデザインする上での必要な考え方や戦略は体系的に整備されてきている。そのうえで本課題研究では、これまで本格的に着手されていないアクティブラーニングの教育効果を検証することを目的としている。

アクティブラーニングの教育効果は、クラス全体の成績平均が上がること、記憶定着率が上がること、学習意欲が高まること、深い学習へのアプローチが高まること等、伝統的な講義型授業に比べて、あるいは授業開始期（プレ）と終了期（ポスト）と比較して、学修に関する変化や差異を指標として検証されてきた。本研究でも、この一般的な指標に基づく効果検証をおこなうが、新しい指標として、アクティブラーナーとしての成長指標も入れて検討する。

本シンポジウムは、課題研究として採択された初年度であることから、本課題研究に関する各担当テーマの説明（溝上・山田・長澤）、2015年度前期に先行実施している調査結果の一部報告（三保）を予定している。

企画者：溝上 慎一（京都大学）

司会者：溝上 慎一（京都大学）

シンポジスト：

溝上 慎一（京都大学） 「AL 効果検証の理論的・測定的フレームワーク」

三保 紀裕（京都学園大学） 「2015年前期対象授業のプレ・ポストの分析結果」

山田 邦雅（北海道大学） 「理系の観点から見る AL の課題」

長澤 多代（三重大学） 「フォトボイスを活用した AL 型授業の教室外学修の実態」

指定討論者：

小笠原 正明（大学教育学会会長）

### 15:30 ～16:00 閉会行事 [学生センターC棟1F GC1大教室]

学会会長挨拶 小笠原 正明（北海道大学名誉教授）

次年度大会開催校・課題研究集会開催校紹介

閉会挨拶 2015年度課題研究集会実行委員長 佐藤 洋一（岩手医科大学）

※ 岩手大学構内（図書館前）から15:40発、16:10発の盛岡駅西口行きのバスを運行します。岩手大学から盛岡駅に行くバスのバス停はわかりにくい場所にあります。ぜひ、このバスをご利用ください。

※ 岩手大学構内は全面禁煙です。ご協力をお願いします。

## <課題研究集会参加申込み要領>

課題研究集会に参加される方は、以下の要領で1)参加申込みの上、2)参加費等の払込みを行ってください。なお、準備の都合上、事前手続きにご協力ください。事前手続きにより、参加費・懇親会費を割引させていただきます（学生会員以外）。

<事前手続き> **10月30日(金)までにお申込みの上、参加費等の払込みをお願いします（期日厳守）。**  
期日を過ぎて払い込まれた場合、受付で当日申込との差額をいただきます。

### 1) 参加申込み方法

オンラインで参加申込みをお願いいたします。申込は10月5日（予定）より、本学会 Web サイトのメニューから「大会・集会」→「大会参加申込」で入力することが可能となります。画面の指示にしたがってお申込みください。

[大学教育学会 URL] <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

※オンライン申込みの受付後には「申込受付」メールを、申込み時に登録いただいたメールアドレス宛に送信します。「申込受付」を受理されましたら、参加費等の払込みをお願いいたします。

### 2) 参加費等払込み方法

参加費等は、同封の払込取扱票を用いた通常扱いの郵便振替にてお支払いをお願いします。電信扱での振込はご遠慮ください。振込手数料はご本人の負担となります。学会の年会費の郵便払込取扱票とは別になっていますので、ご注意ください。

なお、参加者1名につき、払込票1枚を基本ルールとしますが、機関等で複数の参加者の申し込み及び参加費をまとめて一括で振り込まれる場合は、事前に事務局までご連絡ください。

|                         |  |  |
|-------------------------|--|--|
| 課題研究集会 郵便振替口座           |  |  |
| 加入者名: 2015年度課題研究集会実行委員会 |  |  |
| 【口座番号】 02240-9-119952   |  |  |

万が一、誤って締め切り後にご入金の場合、課題研究集会当日までに入金を確認できないことがありますので、ご入金時の郵便振替払込請求書兼受領証を必ずご持参ください。なお、締め切り後のご入金の場合は当日受付扱いとなりますので、差額を受付時にお支払いいただくことになります。領収書は、当日受付でお渡しします。

【参加費等】（事前払込期日は10月30日(金)です。）

| 申込み区分      | 会員・一般           |        | 学生<br>(特別割引) |
|------------|-----------------|--------|--------------|
|            | 事前払込み           | 当日受付   |              |
| 参加費（要旨集含む） | 5,000円          | 6,000円 | 1,000円       |
| 情報交換会費     | 5,000円          | 6,000円 | 2,000円       |
| 『要旨集』のみ    | 1部 1,000円（送料込み） |        |              |
| 昼食（29日昼）   | 800円            |        | 800円（事前のみ）   |

- ・非会員の方も参加できます。オンライン申込み後、「申込受付」のご連絡時に参加費等をお知らせしますので、郵便局に備え付けの「払込取扱票」により、上記と同様の手続きをしてください。
- ・学生や院生の方が参加しやすいよう、参加費および懇親会費の特別割引をしています。会員の皆様におかれましては、非会員の学部学生や院生も含め、広く課題研究集会への参加を促していただきますようお願いいたします。また、これを機会に本学会加入呼びかけへのご協力もお願いいたします。
- ・払込みされた参加費等は、理由を問わず返却いたしません。あらかじめご了承ください。
- ・参加費等を払込みながらご欠席の場合は、後日、『要旨集』をお送りします。



### 3) 11月28日(土)・11月29日(日)の昼食

28日(土) 岩手医科大学矢巾キャンパス内のコンビニが営業しています。

29日(日) 岩手大学は、事前に申し込みをされた方のみ、学内の食堂「イン・シーズン」で昼食をとることができます(当日販売なし)。大学周辺に若干のコンビニや食堂がありますが、あまり数が多くありませんので、ご注意ください。

### 4) 託児室の利用について

11月28日(土)・11月29日(日)の両日、会場内の託児室にてお子様をお預かりいたします。詳細をWeb上で確認の上、期限内にお申し込み、お支払いをお願いいたします。なお、申し込みは先着で、定員になり次第締め切ります。受付は10月5日からを予定しています。

[大学教育学会 URL] <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

### 〔会場へのアクセス〕

#### <盛岡まで>

#### 【東北新幹線・秋田新幹線】

東京-盛岡 : 2時間10分 (はやぶさ)

新青森-盛岡 : 49分 (はやぶさ)

秋田-盛岡 : 1時間26分 (こまち)

#### 【空路/花巻空港 (JAL)】

大阪 (伊丹) -花巻 : 1時間25分

新千歳 (札幌) -花巻 : 55分

名古屋 (小牧) -花巻 : 1時間15分

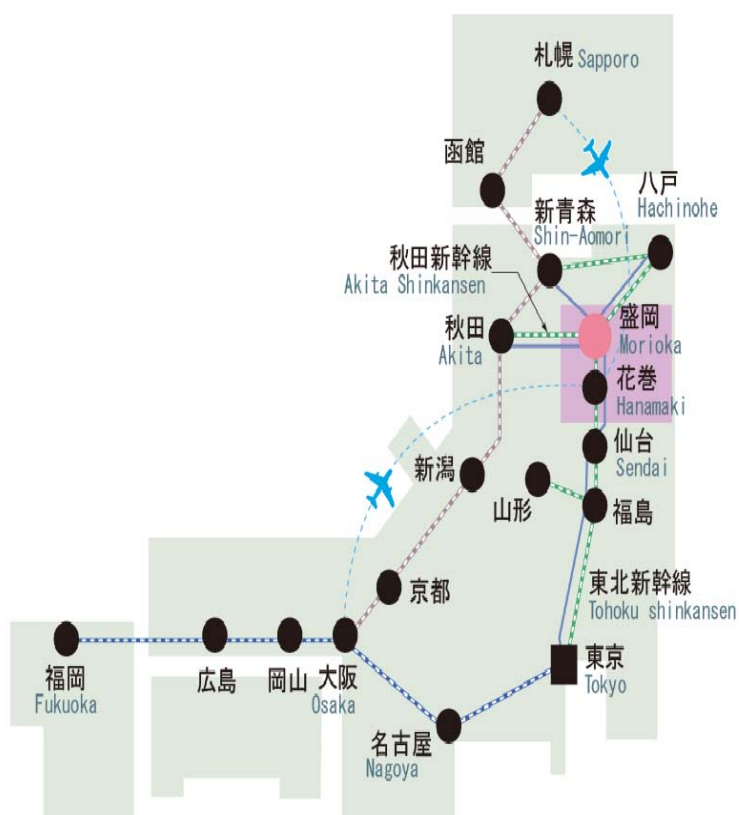
\*花巻空港-盛岡駅 (岩手県交通バス)  
: 50分

#### 【東北自動車道】

青森 I C-盛岡 I C : 2時間

秋田中央 I C-盛岡 I C : 1時間30分

仙台宮城 I C-盛岡 I C : 2時間

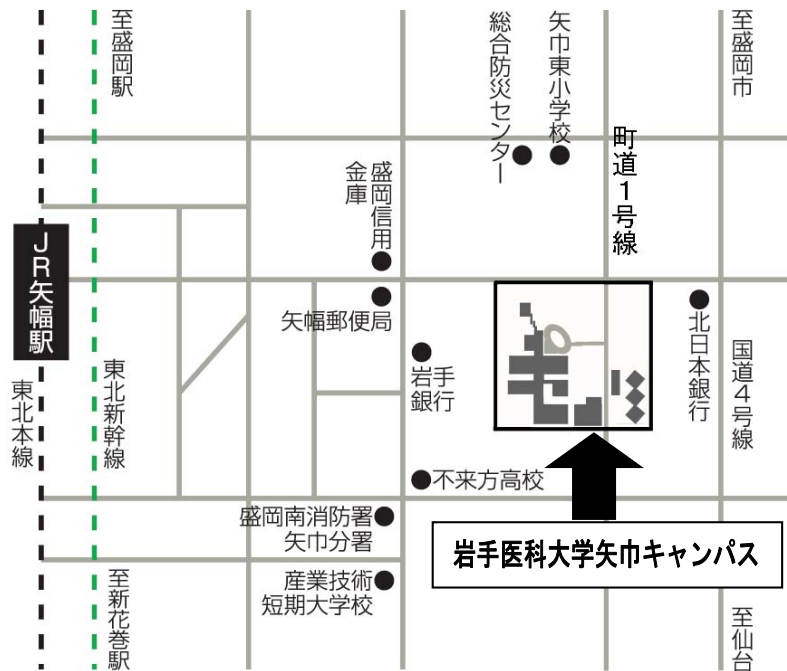


<岩手医科大学矢巾キャンパス>

東北新幹線「盛岡」駅から東北本線「矢幅」駅（約15分）下車、徒歩17分。

※28日の日中には、矢幅駅と矢巾キャンパス間のシャトルバスを運行します。ご利用ください。

- ◇ 岩手医科大学  
矢巾キャンパス  
案内図



<岩手大学>

東北新幹線「盛岡」駅下車、徒歩25分。

盛岡駅東口バスターミナル11番から岩手県交通バスの駅上田線「松園バスターミナル」行き、もしくは駅桜台団地線「桜台団地」行きに乗車し、「岩手大学前」で下車。

- ◇ 岩手大学  
案内図



**【2015年度課題研究集会実行委員会事務局】**  
 「大学教育学会 2015年度課題研究集会実行委員会」事務局  
 岩手大学 教育推進機構内  
 〒020-0033 岩手県盛岡市上田 3-18-34  
 お問い合わせ用 E-Mail: [meeting2015@genesis.hss.iwate-u.ac.jp](mailto:meeting2015@genesis.hss.iwate-u.ac.jp)

## ＝事務局から＝

### ● 会費納入のお願い

今年度(2015年度)の会費が未納の会員は、速やかにご入金ください。  
領収書につきましては、郵便払込票の受領書をもって替えさせていただきます。

年会費等郵便振替口座 00120-4-178891 「大学教育学会」

ご入金には郵便払込票をご利用ください。やむを得ず、銀行からご入金を希望される場合は、入金前に必ず、以下の大学教育学会 学会業務取扱センターまでその旨ご連絡下さい。

<「入退会・会員登録情報変更・会費納入状況」の問い合わせ先>

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1丁目24-1 第2ユニオンビル4F

TEL:03-5981-9824 FAX:03-5981-9852

E-mail:g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp

過年度会費の滞納がある場合は、学会誌の発送を見送る措置をとらせていただきます。  
納入状況は、学会ウェブサイトの会員ページにあります「会員情報の照会・更新」からご自身で確認可能です。  
また、2016年大会時の発表申込み(2016年2月を予定)は、2015年度分までの会費が納入済みであることが条件となります。

※課題研究集会時(11月28日(土)12時～17時、11月29日(日)9時～15時)は、会場に学会事務局の受付を設置し、未納分の会費納入、会誌バックナンバー・学会出版物の頒布予約等を行いますのでご利用ください。

### ● 住所変更等会員情報更新のお願い

ご住所、ご所属や役職等に変更がある方は、速やかに、学会ウェブサイトの「会員ページ」にあります「会員情報の照会・更新」からご自身でご変更のほどお願い申し上げます。ID(会員番号)・PWを紛失された方は、上記の大学教育学会 学会業務取扱センターまでお問い合わせください。

定期刊行物は、宅配業者DM便を利用しているため、転居にともなう転送はされず数週間後、事務局へ返送されてまいります。何卒ご協力をお願いいたします。

### ● メールマガジンの受信設定のお願い

現在、会員の皆様に年2～3回、大学教育学会メール通信(メールマガジン)を配信しております。  
しかし、受信拒否や宛先不明を理由に返送されてくるメールが多数あります。ご登録のアドレスにおいて学会アドレスjacue.office@gmail.comより送信されましたメールを受信できるよう設定をお願い致します。

### ● 学会関連資料のご寄贈のお願い【アーカイブズ委員会】

特に探究している資料は、以下の通りです。学会事務局まで「着払い」でお送りください。

大会発表要旨集録等(1979,1981,1989,1990,1993,1998,2000,2001,2002,2003,2004年)

課題研究集会要旨集(1981,1982,1985,1986,1987,1988,1989,1992,1993,1998,2001,2003,2004,2005,2008年)

その他、一般教育学会時代の資料についてもご寄贈をお待ちしています。

### ● 大学教育学会第38回(2016年度)大会について

2016年度第38回大会は、2016年6月11日(土)・12日(日)に立命館大学大阪いばらきキャンパスにて開催予定です。スケジュール、ラウンドテーブルや自由研究のお申込みについては次号(NL101号)にてお知らせの予定です。

### ● 2016年度課題研究集会および第39回(2017年度)大会について

2015年8月22日の理事会において、2016年度課題研究集会は千葉大学、2017年度第39回大会は広島大学が担当することに決定しました。日程・会場等の具体的な情報は逐次お伝えいたします。

## ● 大学教育学会奨励賞2015年度募集について

大学教育学会奨励賞は、大学教育および大学教育研究の発展を期して設けられました。受賞対象者は本学会会員です。2015年度の受賞対象は過去4年間の学会誌（第34巻第1号から第37巻第2号まで）に掲載された論文です。応募は自薦・他薦を問いません。

- ① 提出書類 <自薦>論文、応募者の略歴及び業績一覧、応募理由（研究の意義・成果など1,000字以内） / <他薦>論文、推薦理由（研究の意義・成果など1,000字以内）
- ② 募集締め切り 2016年1月15日（金）必着
- ③ 送付先 学会事務局

なお奨励賞についての詳細は、「大学教育学会奨励賞規程」（本学会ウェブサイトに掲載）をご確認ください。



---

### 【学会事務局】

〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原2-8-20-204  
Tel/ Fax: 042-707-8112  
E-mail: jacue.office@gmail.com  
URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

### 【入退会・会員登録情報変更・会費納入状況についてのお問い合わせ先】

大学教育学会 学会業務取扱センター  
〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1丁目24-1 第2ユニオンビル4F  
TEL: 03-5981-9824 FAX: 03-5981-9852  
E-mail: g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp